

写真を一括で自動補正

写真を一括で自動補正することができ、修学旅行や学校行事などで撮ったたくさんの写真を一括で適切な明るさや色にすることができます。

●事前準備する資料

- 修学旅行や学校行事などの写真



● 操作手順

① 写真を取り込もう ▶

② 写真を選択しよう ▶

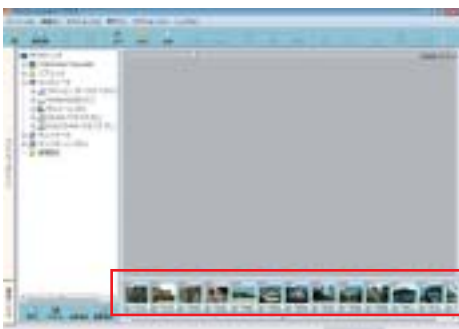
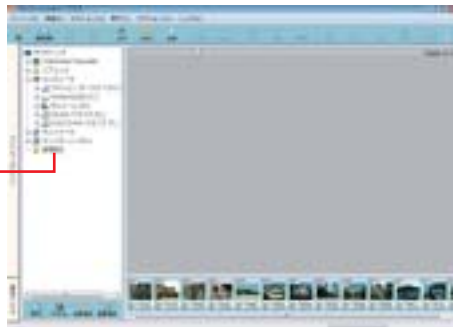
③ 補正をしよう

▶ エクスプローラから写真を開こう



1 エクスプローラから写真を保存しているフォルダを選択します。

例 [修学旅行] フォルダを選択します。



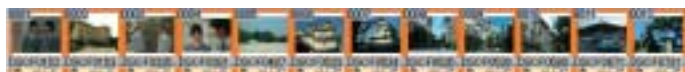
2 フォルダの中身が[画像セレクト]に表示されます。



▶ 補正をする写真をすべて選択しよう



1 ツールバーの[編集]をクリックし、[全て選択(A)]を選択します。



選択するとすべてのサムネイルがオレンジ色の枠で囲われます。

選択方法

[CTRL]+クリック … 1枚毎に画像を選択することができます。

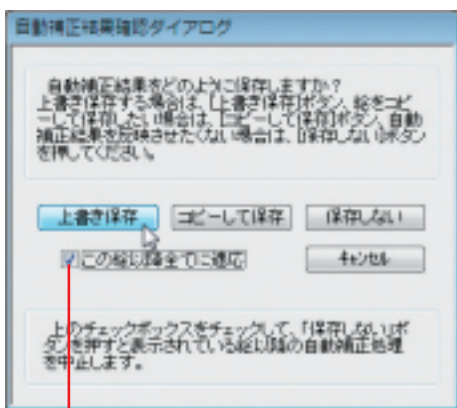
[CTRL]+[A] …… 全てのサムネイルを選択します。
または、メニューバーの[編集]の
[全て選択(A)]をクリックします。

[SHIFT]+クリック … 最初に選択した画像から最後に
選択した画像をすべて選択します。

▶ 選択した画像を自動補正しよう



1 画面左下の[自動補正]をクリックします。



「この絵以降全てに適用」項目の左手に表示されている「」をクリックして、チェックマークを付けてから、a.~c.までの何れかのボタンをクリックすると、複数の画像を選択している場合、現在表示されている画像以降の全ての画像に選択したボタンの操作を連続して実行します。

2 自動補正の処理が開始され、[自動補正結果確認ダイアログ]が表示されます。

a. 上書き保存

現在表示されている画像に直接自動補正を実行しています。

b. コピーして保存

現在表示されている画像のコピー画像を作成し、コピー画像に自動補正を実行します。

c. 保存しない

現在表示されている画像には処理を実行ないようにします。

d. キャンセル

自動補正の処理を中止します。

例 「この絵以降全てに適用」にチェックを付け[上書き保存]を選択します。

3 処理が終了すると、[画像選択]画面に戻ります。

写真を一括で解像度変換

たくさんの写真を取り込む際に一括で解像度変換作業を行い、ファイルサイズを小さくします。



●事前準備する資料

- 修学旅行や学校行事などの写真

● 操作手順

① 写真を取り込もう ▶

② 写真を選択しよう ▶

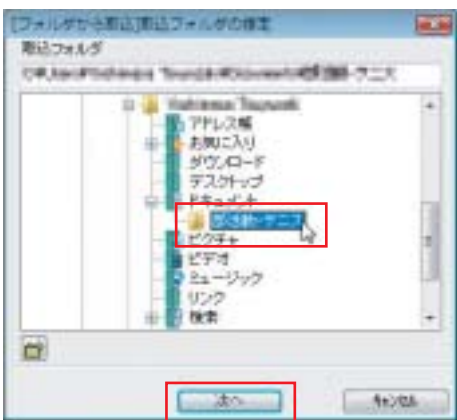
③ 解像度変換をよう

- ① 写真を取り込もう ② 写真を選択しよう ③ 解像度変換をしよう 写真を一括で解像度変換

▶ フォルダから写真を取り込もう

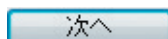


- 1 ツールバーの【フォルダ】をクリックします。

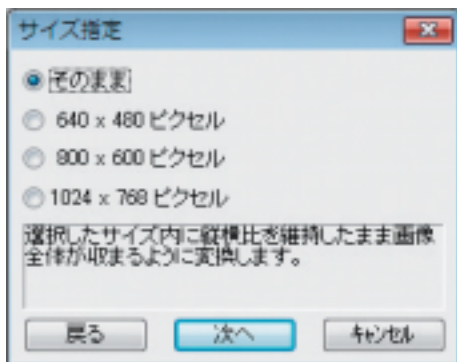


- 2 [取込フォルダの指定] ウィンドウが表示されます。
写真の入っているフォルダをクリックして指定します。

- 3 [次へ]をクリックします。

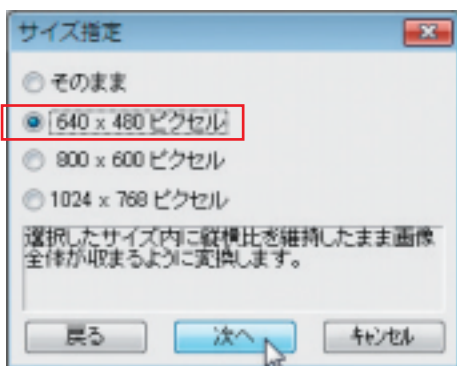


▶ 解像度を設定しよう



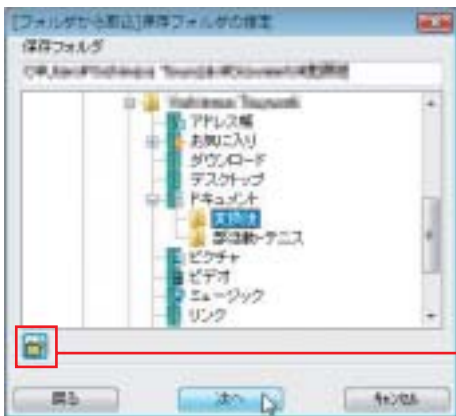
- 1 [サイズ指定] ウィンドウが表示されます。

- ① そのまま
- ② 640×480 ピクセル
- ③ 800×600 ピクセル
- ④ 1024×728 ピクセル



- 2 任意の解像度の【○】にチェックし【次へ】をクリックします。

例 ② 640×480 ピクセル

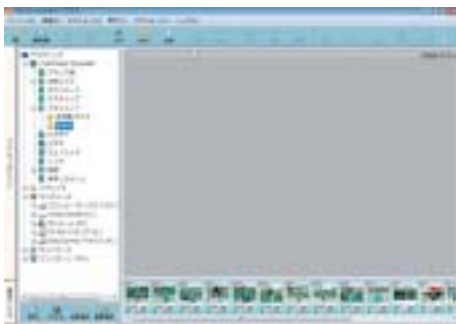


- 6 [保存フォルダの指定]が表示されるので、ウインドウの中央の画像ツリーより保存先のフォルダを指定します。
[次へ]をクリックします。



保存の際に、保存場所として新しいフォルダを作成する場合には、画像ツリーでフォルダを作成するドライブを指定してから、[新しいフォルダの作成]をクリックしてください。

- 7 取り込みが開始され解像度が変換されます。取り込みが完了すると[取込完了]ウインドウが表示されるので、[OK]をクリックします。



[画像選択]画面に戻ります。

写真の不要部分の削除

写真撮影時に移ってしまった日付や不要物を部分的に背景をコピーして削除することができます。写真に入った日付を消して、卒業アルバムや授業用の写真として活用することができます。



● 事前準備する資料

- 日付の入っている写真



2008. 4. 20

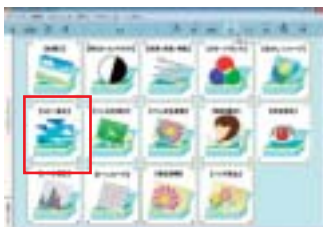
● 操作手順

① 写真を準備しよう ▶

② 不要部分を削除しよう

▶ **写真をファイルから取り込もう** → 取り込み方法は5ページを参照ください。

▶ **写真の日付を削除しよう**



1 ツールバーの【補正】をクリックします。

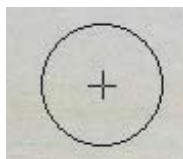
2 【セクション選択画面】が表示されます。
【コピー修正】をクリックします。



3 【コピー修正】セクションへ移動します。

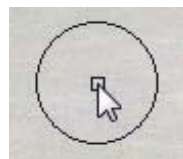
キャンバス上にカーソルを合わせると、2つの円が表示されます。

それぞれの
円の役割



Ⓐ コピー元

円の中心が「+」になっている円の範囲を読み取ります。



Ⓑ コピー先

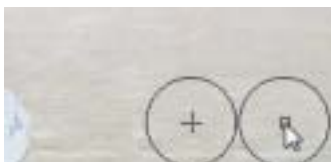
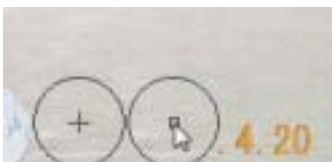
円の中心が四角になっている円の範囲へ、コピー元から読み取った部分をペンでなぞるように写真をコピーします。



4 キーボードの【CTRL】キーを押したままにするとⒶの位置が固定されます。修正を行う方向に合わせて、Ⓐを固定した状態でドラッグを行い、Ⓑの位置を調整してください。

5 コピー修正を実行します。

【CTRL】キーから指を離して、消去したい部分をドラッグします。



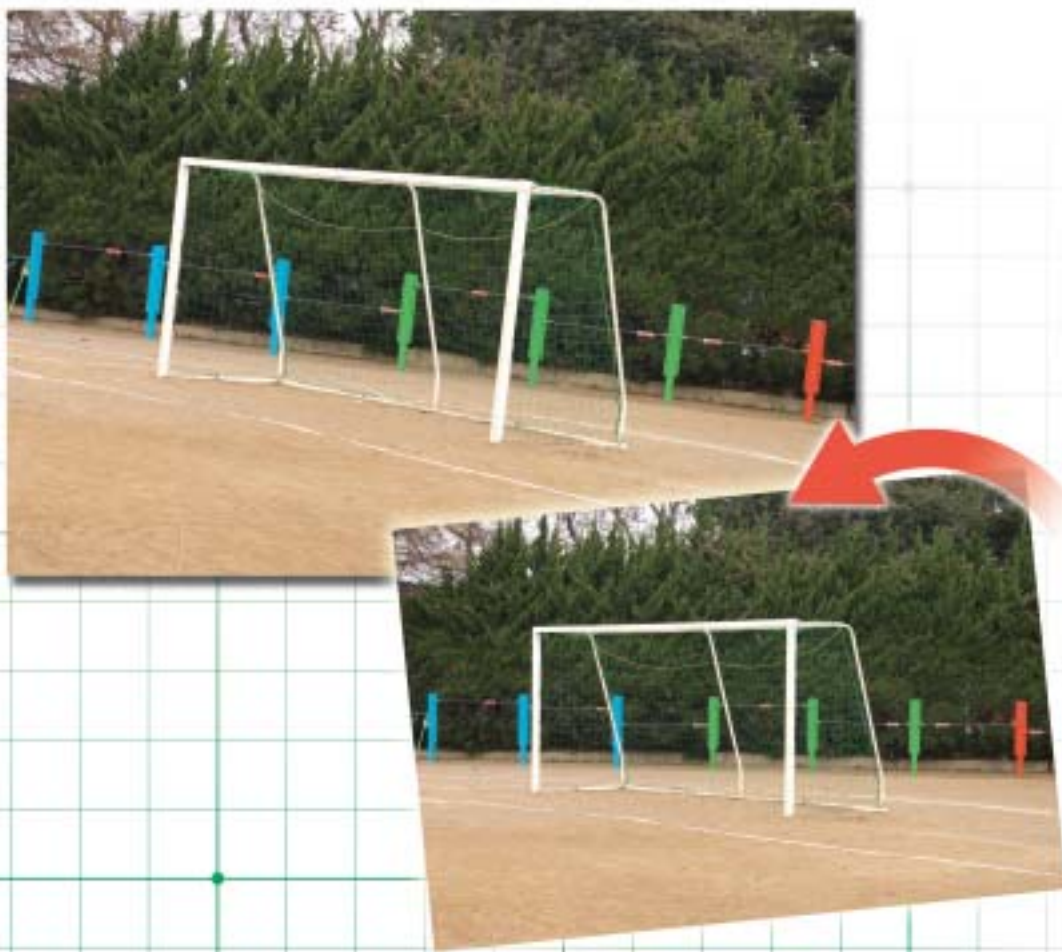
▶ **保存をしよう** → 保存方法は10ページを参照ください。

傾いた写真の修正

写真撮影時に傾いて撮れてしまった写真を回転を使用し補正します。スナップ写真や集合写真を撮影するときに、傾いて撮れた写真を補正します。

● 事前準備する資料

- 傾いた写真



● 操作手順

① 写真を準備しよう ▶

② 回転させよう ▶

③ 余白を切り取ろう

▶ **写真をファイルから取り込もう** → 取り込み方法は5ページを参照してください。

▶ **画像を回転させて正しい位置にしよう**



1 ツールバーの[回転]をクリックします。



2 回転セクションへ移動します。

キャンバスの写真上にマウスのカーソルを合わせます。



3 写真をドラッグすると角度が変化します。調整したい角度へ調整を行います。

角度を0に戻すには…

画面左手のコントロールパレットの「角度」項目を「0」度にする、回転された写真が元の角度に変化します。



① 設定したい角度が決まっている場合には、この「角度」項目へその角度を入力して、直接数値で角度を指定することもできます。

② 数値は半角英数で入力してください。

4 写真の角度が調節できたら、[確定]をクリックします。



5 確認メッセージが表示されますので、[[はい]]をクリックします。



6 調節した角度に写真が固定されます。

▶ 余分な部分を切り取る



1 ツールバーの【トリミング】をクリックします。



2 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され選択した領域選択の型が表示されます。

写真が型の中に収まり、余白部分が領域選択枠に入らないようにドラッグをします。



ドラッグを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグすると型の配置が変更できます。

領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアル23ページを参照ください。



3 【切り抜き】をクリックすると、切抜きを実行します。

▶ 保存をしよう → 保存方法は10ページを参照ください。

トリミングで写真の形を変えよう

写真の形を26種類のテンプレートに合わせて切り取ります。
学級通信や教材などに掲載する写真の形を変えることができ、
写真を強調したり用途に合った形に切り抜くことができます。



●事前準備する資料

- 学級通信や教材などに掲載する写真



● 操作手順

① 写真を準備しよう ▶

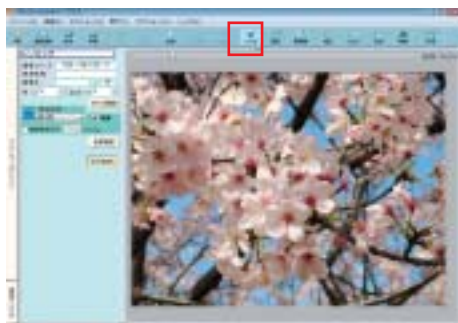
② 型を選択しよう ▶

③ 切り抜きをしよう

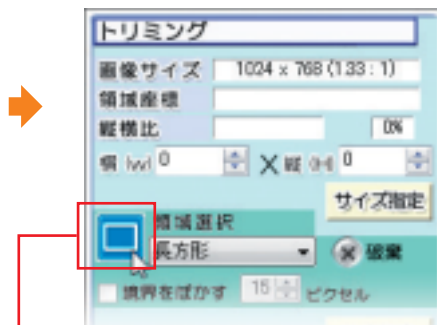
～通常トリミング～

▶ 写真をファイルから取り込もう → 取り込み方法は5ページを参照ください。

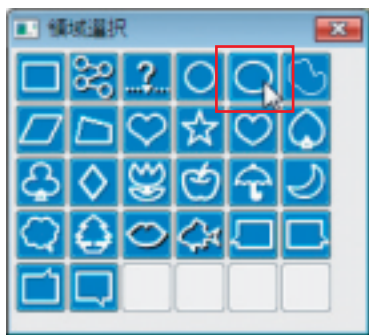
▶ 型を選択して範囲を指定しよう



1 ツールバーの【トリミング】をクリックします。



2 【領域選択】をクリックします。



3 【領域選択】ウインドウが表示されます。利用する領域選択をクリックして選択します。楕円形に切り抜くので【楕円形】を選択します。



4 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され選択した領域選択の型が表示されます。切り抜きたい範囲が型の中に収まるようにドラッグをします。



ドラッグを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグをすると型の配置が変更できます。

領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアルの23ページを参照ください。

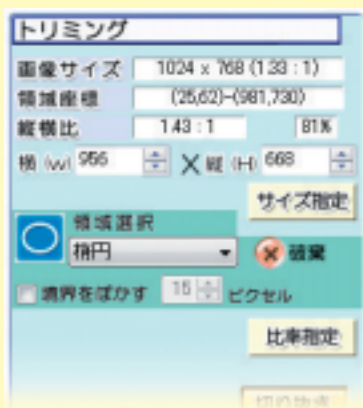
第3章

102 トリミングで写真の形を変えよう

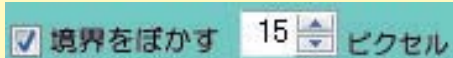
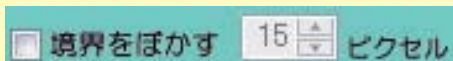
③ 切り抜きしよう



境界をぼかす場合



1 [境界をぼかす]項目の左手に表示されている「」をクリックして、チェックマークをつけて有効にします。



2 境界をぼかす際に、エディットコントロールまたはスピンコントロールで、ぼかしの掛ける範囲の幅を設定することができます。



例 数値は[30]に設定します。

補足

エディットコントロール

半角数字で数値を設定することにより、効果を調節します。

スピンコントロール

[▲]ボタン・[▼]ボタンを操作することにより、効果を調節します。

▶ 切り抜きをしよう



1 [切り抜き]をクリックすると、切り抜きを実行します。

切り抜き

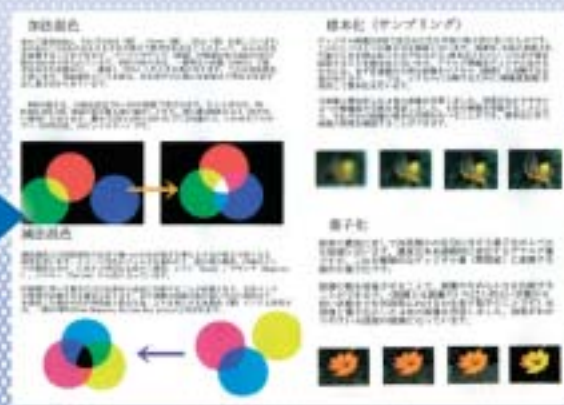
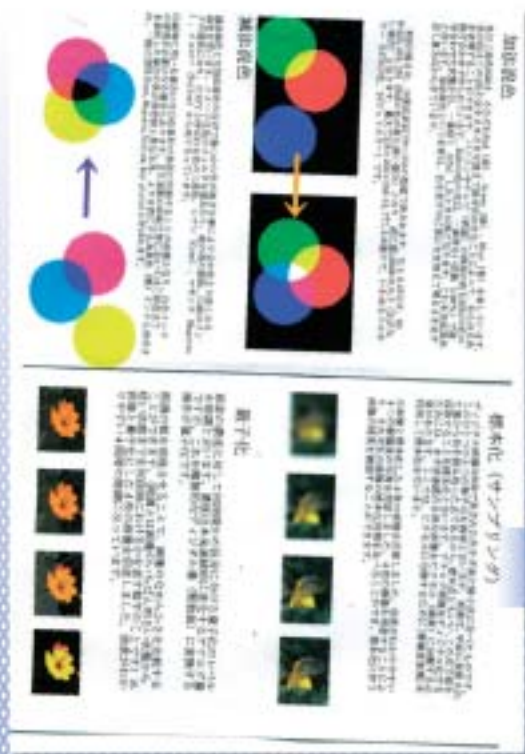
▶ 保存をしよう → 保存方法は10ページを参照ください。

スキャナから資料を取り込み教材を作ろう

写真撮影時やスキャナ取り込み時のゴミなどを部分的にコピーし修正します。教科書や資料の読み込み時に入ってしまったゴミや影の部分を修正し見やすい教材を作成することができます。

●事前準備する資料

- スキャナで読み込む教科書または資料



● 操作手順

- ① 資料を用意しよう ▶
- ② 角度を変えよう ▶
- ③ 切り取りをしよう ▶
- ④ 不要部分を修正しよう

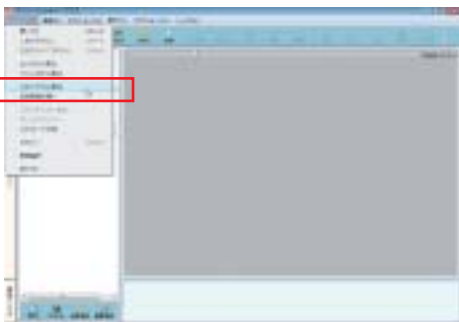
第3章

104 スキャナから資料を取り込み教材を作ろう

① 資料を用意しよう

② 角度を変えよう

▶ 教材をスキャナで読み取ろう



- 1 メニューバーの【ファイル(F)】から【スキャナ】を選択します。



- 2 「ソースの選択」ウインドウが表示されます。
設定されている機器付属のドライブをクリックで選択し、【選択】をクリックします。

- 3 機器付属のドライブのウインドウが表示されます。

ご利用機器の取扱説明書をご参考の上、画像の取り込みの操作を行ってください。



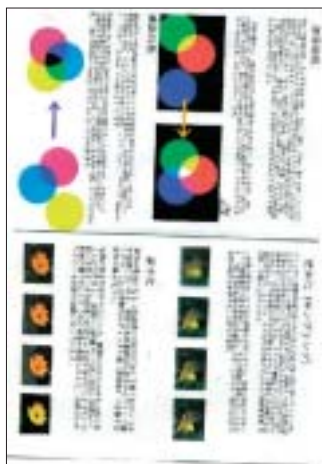
▶ 角度を整えよう



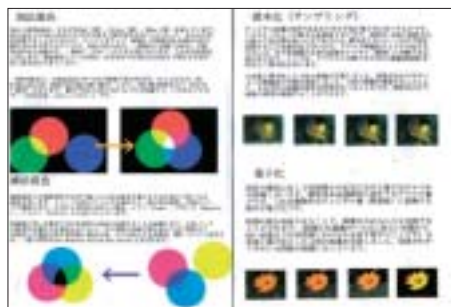
- 1 ツールバーの【回転】をクリックします。



- 2 画像の回転を行う【回転】セクションへ移動します。
キャンバスの写真上にマウスのカーソルを合わせます。



- 3 画像をドラッグすると角度が変化します。調整したい角度へ調整を行います。



確定

- 4 画像の角度が調節できたら、**【確定】**をクリックします。



- 5 確認メッセージが表示されますので、**【はい】**をクリックします。



- 6 調節した角度に画像が固定されます。

補足

角度を「0」に戻すには…

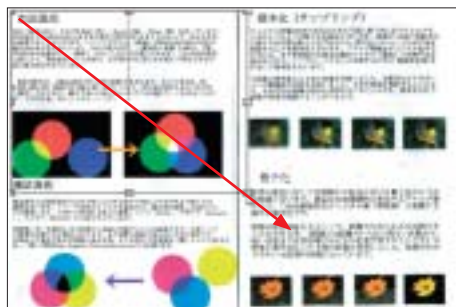
画面左手のコントロールパレットの「角度」項目を「0」度にする、回転された画像が元の角度に変化します。

- ① 設定したい角度が決まっている場合には、この「角度」項目へその角度を入力して、直接数値で角度を指定することもできます。
- ② 数値は半角英数で入力してください。

▶ 余分な部分を切り取る

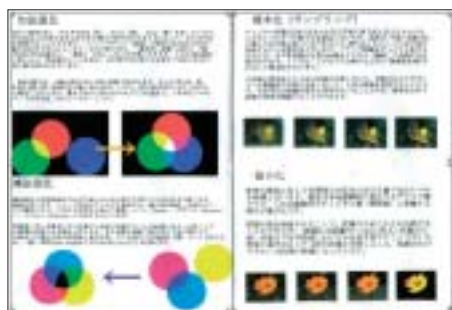


1 ツールバーの【トリミング】をクリックします。



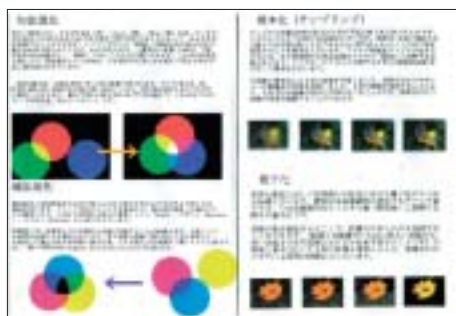
2 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され選択した領域選択の型が表示されます。

画像が型の中に収まり余白部分が領域選択枠に入らないようにドラッグをします。



ドラッグを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。

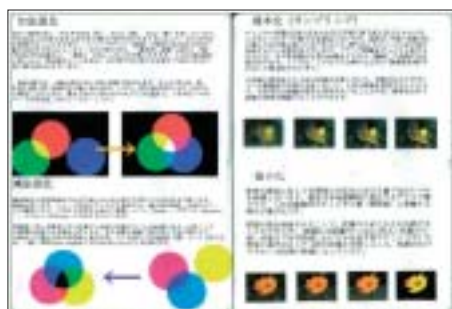
領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグをすると型の配置が変更できます。



切り抜き

3 【切り抜き】をクリックすると、切抜きを実行します。

領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアル23ページを参照ください。



▶ 取り込んだ画像のゴミを削除しよう



1 ツールバーの【補正】をクリックします。

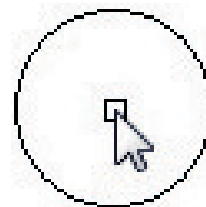
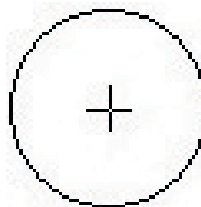


2 【セクション選択画面】が表示されます。
【コピー修正】をクリックします。



3 コピー修正セクションへ移動します。
キャンバス上にカーソルを合わせると、2つの円が表示されます。

それぞれの
円の役割



A コピー元

円の中心が「+」になっている円の範囲を読み取ります。

B コピー先

円の中心が四角になっている円の範囲へ、コピー元から読み取った部分をペンでなぞるように写真をコピーします。

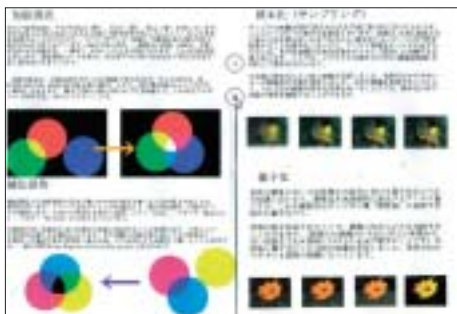


4 キーボードの【CTRL】キーを押したままにすると**A**の位置が固定されます。修正を行う方向に合わせて、**A**を固定した状態でドラッグを行い、**B**の位置を調整してください。

第3章

108 スキャナから資料を取り込み教材を作ろう

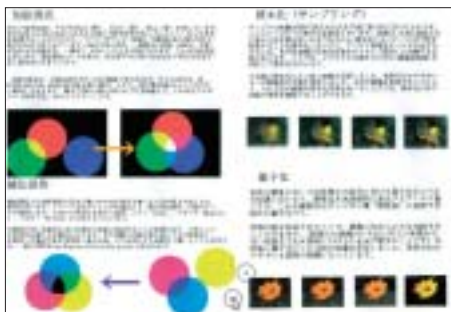
④ 不要部分を修正しよう



5 コピー修正を実行します。

[CTRL] キーから指を離して、消去したい部分をドラッグします。

Ⓐの部分をもてBの部分へコピーします。



ペン先が太い場合はⒶの下に[大・中・小]のいずれかを選択して太さを調整します。

▶ **保存をしよう** → 保存方法は10ページを参照ください。

2次元バーコード (QRコード) の作成

携帯電話のカメラモードで読み込める2次元バーコード (QRコード) を作成します。
学級通信や校内掲示物に2次元バーコード (QRコード) を掲載し学校のホームページ (携帯電話用) やブログを紹介することができます。

● 事前準備する資料

- 学校ホームページまたはブログなどのURLや電話番号、E-Mailアドレス

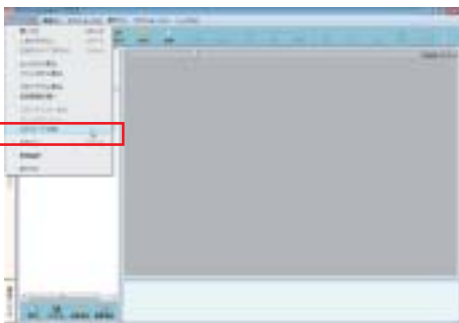


● 操作手順

① 情報を入力しよう

② 書類に貼りつけよう

▶ QRコード設定画面を起動します



- 1 メニューバーの【ファイル(F)]から【QRコード作成】を選択します。



- 2 【QRコードの設定】ウィンドウが表示されます。

▶ QRコードに掲載する情報を入力しよう



- 1 使用する項目を入力します。
【電話番号】【E-Mail】【URL】をそれぞれ入力します。
入力は、半角英数字で行ってください。

すべて入力しなくても、作成することはできます。

- 2 【作成】をクリックします。



- 3 【名前を付けて保存】のウィンドウが表示されます。



- 4 【保存】をクリックします。
例 【ドキュメント】に保存します。



- 5 [ファイル名]に作成した作品のファイルの名前を入力します。

例 [QRコード_学級通信用]とつけます。



- 6 作品の保存形式を[ファイルの種類]から選択します。

例 [GIF(*.GIF)]形式で保存をします。

保存形式についての解説は144ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

- 7 [保存]をクリックします。



- 8 [GIF保存]ウインドウが表示されます。

QRコードの場合はそのまま[OK]をクリックします。

保存が完了します。

▶ 学級通信やプリントにQRコードを貼り付ける場合



- 1 他のアプリケーションソフトを起動します。



- 2 アプリケーションソフトの画像取り込み機能で、作成したQRコードのデータを取り込みます。

操作方法はお使いのアプリケーションソフトの操作ガイドをご参照ください。